

スケートボード広場を供用開始

二十世紀の森公園スケートボード広場は、施設整備の要望や、スケートボードが東京2020オリンピック競技大会の正式種目に決定されたことなどを受けて、本市におけるスポーツレクリエーション環境の充実と、市民の皆さんの運動機会の増大などを図ることを目的に整備し、五月二十四日(日)に供用開始します。同広場は、既存の園路や高低差を生かしたコースで、初級者から上級者まで、それぞれのレベルに応じて楽しめる施設になっていますので、ぜひお越しください。

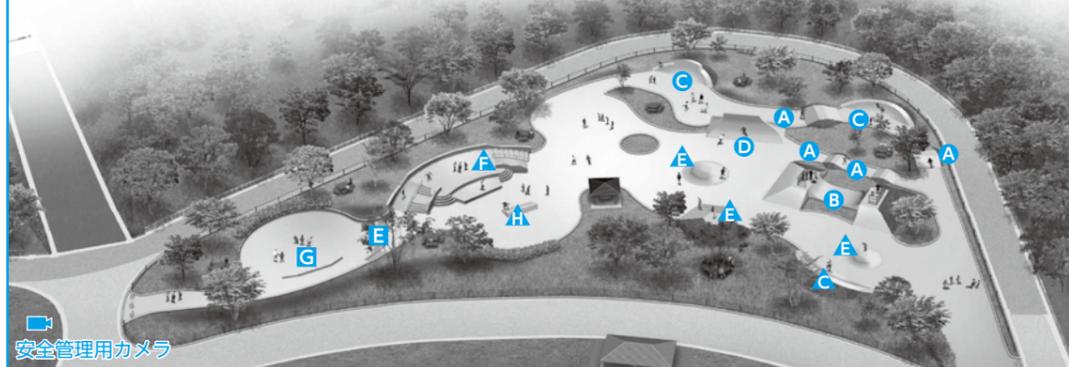
二十世紀の森公園スケートボード広場は、施設整備の要望や、スケートボードが東京2020オリンピック競技大会の正式種目に決定されたことなどを受けて、本市におけるスポーツレクリエーション環境の充実と、市民の皆さんの運動機会の増大などを図ることを目的に整備し、五月二十四日(日)に供用開始します。同広場は、既存の園路や高低差を生かしたコースで、初級者から上級者まで、それぞれのレベルに応じて楽しめる施設になっていますので、ぜひお越しください。

施設の利用申し込み方法

- ▶ 申込場所 21世紀の森公園管理事務所 (いわきグリーンスタジアム内)
 - ▶ 申し込み方法
 - ・初めて利用する方は、必ず同管理事務所でも利用者登録を行ってください。
 - ・初回以降は、広場入口に備え付けの受付簿に、必要事項を記入してから利用してください。
 - ・大会やイベントなどで使用する場合は、事前に相談してください。
- ※詳しくは、同管理事務所 (☎43-0555) へお問い合わせください。

スケートボード広場の特徴

A ウェーブ  走路が波打ったような形状のセクション。	B ランページ  中央に平坦部をもち、端部がRで持ち上がったセクション。高さは1.2m。	C スネークリップ  スネークラインのカーブ部に設け、リップ(頂点部)を通過し勢いを付ける。
D オーバーハングリップ  オーバーハングしたR形状を波に見立てた大型のセクション。	E バンク  坂の形状をしているノーマルなバンクのほか、六角形のヘキサバンクや円形のプリンバンクなど形状はさまざま。勢い付けの発射台として利用。	F ステージ  街の中にあるような階段、スロープ、手すりを模して作られたセクションをステージに見立てて組み合わせたもの。
G スラッピーカーブ  緑石を模したセクション。初心者向け。	H マニュアルパッド  オーリー(ジャンプ)の練習に最適な低めの台。	凡例 ● : 上級者向け ▲ : 中級者向け ■ : 初級者向け



安全管理用カメラ

第34回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や自衛官、消防吏員など、著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。本市からは、次の8人の方々が晴れの榮譽に輝きました。

=年齢は4月29日現在。50音順・敬称略=

○瑞宝双光章

- ▷菅野昇(71)=元県警視 鹿島町米田
- ▷小松光夫(71)=元県警部 小浜町
- ▷白鳥康平(66)=元市消防司令長 平
- ▷箱崎幸善(65)=元市消防監 中央台
- ▷村上佳代子(61)=元1等陸佐 鹿島町下蔵持
- ▷吉田充(65)=元海上保安官 中央台

○瑞宝単光章

- ▷長谷川一三(71)=元県警部 四倉町
- ▷藁谷一夫(71)=元県警部補 石森

令和元年度消防庁長官表彰

次の3人の方々が、永年勤続功労章を受章しました。同章は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の模範と認められる消防団員などに贈られるものです。

=年齢は3月1日現在。支団(所属、階級)順・敬称略=

- ▷渡辺章(61)=第7支団副支団長 四倉町細谷
- ▷遠藤信郎(66)=第7支団第4分団長 好間町大和
- ▷新妻浩幸(59)=第7支団機械副分団長 明治団地



【フラット35】子育て支援型・地域活性化型並びにいわき市三世同居・近居支援事業及びいわき市まちなか定住促進事業に係る相互協力に関する協定を締結

市は、4月1日に、独立行政法人住宅金融支援機構と同協定を締結しました。同協定に基づき、同機構が提供する住宅ローンと、子育て環境や高齢者見守りの充実を目的として市が実施する「市三世同居・近居支援事業」や市外からの移住を支援する「まちなか定住促進事業」の推進・普及のため、今後は、相互に連携を図りながら、選ばれる都市への実現に向け各種取り組みを進めていきます。

表彰 いわき市民スポーツ栄誉賞

3月16日、昨年11月に中国・貴州省で開催された「ソフトボール第8回女子U17アジアカップ」において、投手として出場し、日本代表の優勝に貢献した荒川めいさんに、市民スポーツ栄誉賞を授与し、その功績をたたえました。



表彰を受けた荒川めいさん(中央)

田人地区に地域おこし協力隊を配置

地域振興課中山間・沿岸地域係 ☎22-7415

4月1日から田人地区に、新たに地域おこし協力隊を配置しました。

地域おこし協力隊に任命された吉川竜太さんは、古民家を再生したコミュニティーハウス「HITO-TABI」で、カフェ事業のほか、のびのびと安心して過ごせる子ども預かり事業の環境整備・運営管理などの活動を行っています。



吉川竜太さん

田人地区の振興と活性化のため、頑張っていきます。気軽にお声掛けください!

大雨・台風に向けて① ～事前の情報収集や確認が大切です～

○情報収集ツールを知ろう

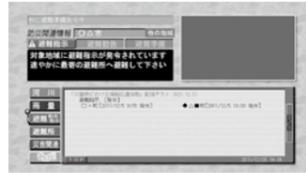
市では大規模災害のリスクや地域の避難所情報などを載せた地図を、災害予防・防災啓発のため配布しています。お住まいの地区や勤務先などを確認し、突然起こる災害に備えましょう。

また、災害が発生し、市から避難に関する情報を発令する場合、避難広報やテレビの緊急速報のほか、エリアメールや市防災メールで情報を発信します。エリアメールは、NTTドコモ・KDDI (au)・ソフトバンクの携帯電話・スマートフォンをお持ちの方は誰でも受信することができます。市防災メールは、登録が必要となります。市ホームページやハザードマップなどに登録方法を載せていますのでご覧ください。

①車両による避難広報



②テレビのデータ放送



③FMいわきへの緊急割り込み放送



④防災行政無線拡声子局 (津波：沿岸部) による避難広報



⑤エリアメールや市防災メールの配信



⑥各種防災アプリの登録



○家族や身近な人と事前に確認・話し合いを

災害が起こったとき、家族の誰もが安全に避難できるよう、事前に避難所や避難経路を実際に歩いて確認しておきましょう。また、家族と連絡を取る方法や誰が非常用持出品を持ち出すかなど、それぞれの役割分担を決めておきましょう。

いわきの歴史を伝える文化財

文化振興課文化財係 ☎22-7546

市教育委員会は、5月1日、新たに1件の有形文化財を市指定文化財に指定しました。今回の指定により、市指定文化財は195件となりました。

○円通寺鐘樓門=遠野町上遠野 宗教法人円通寺所有

寺に残る記録によると、享保13 (1728) 年に創建されたと伝わる入り母屋造りの高さ約7.5メートルの小規模な三間一戸の楼門で、鐘樓堂も兼ね備えています。屋根はかやぶき屋根を垂鉛鉄板で覆い、現在はその上に銅板をかぶせて保存しています。

2階の外回りは、花頭窓と呼ばれる尖頭アーチ状の窓と格子で仕切られ、床には鐘の音を通るよう格子組が付いており、天井の四隅には逆さまにしたハスの花の装飾が配置されています。戦時中の供出により、長年釣鐘はありませんでしたが、平成15 (2003) 年に新調されました。

鐘樓門は江戸時代には寺院の入口として一般的でしたが、いわき地方では現存するものは少なくなっており貴重です。創建当初の姿を残しており、江戸時代寺院の一般的な鐘樓門を考慮する上で、重要な資料です。



円通寺鐘樓門

リレートーク 273

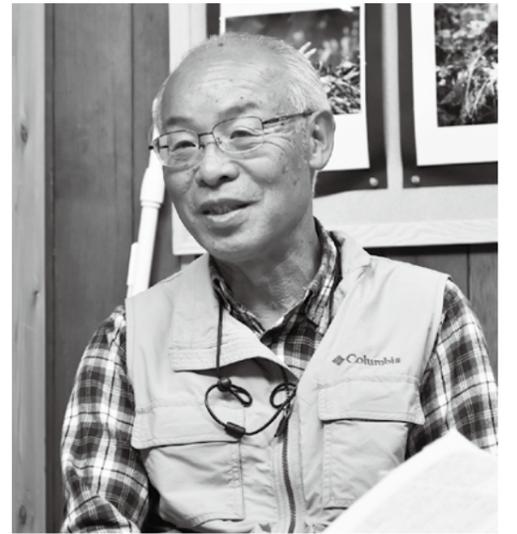
大自然の中で 遊べる機会をつくりたい

Q 団体を設立したきっかけを教えてください。

平成十三年、自然と共生をテーマに開催された「うつくしま未来博」で、森のネイチャーツアー&森の学校という博覧会を体験したことがきっかけです。かつてはどこにでもあった里山を市民の手で再生し、安全に気軽に楽しく利用できる仕組みを作りたいという思いから、同年十月に設立しました。その後、現在の活動拠点でもある湯の岳山荘の指定管理者となるため、平成十六年六月にNPO法人の認証を取得しました。

Q 活動内容を教えてください。

年間を通して行っているのが、毎月第三日曜日に開催する「森の学校」です。山荘周辺での自然観察会や木工工作などを行い、自然に触れ



木田章一さん

NPO法人いわきの森に親しむ会理事長。自然との触れ合いや普及啓発活動に尽力し、昨年「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞した。



森の学校でドングリのやじろべえ作りに挑戦する参加者

合える機会を創出しています。市内から多くの方が参加し、何度も訪れてくれる方もいます。また、環境教育支援として小学校などに出向き、動植物の観察会なども実施しています。毎年多くの依頼があり、喜んでもらっていると実感しています。

さらに、湯の岳山荘の魅力や特色を生かせるよう、会員で工夫を重ね、木工工作ができる工房やピザ窯を新設するなど、施設の管理・整備も行っています。遊びながら自然エネルギーについて学べるよう、太陽光や風力、水力などの発電設備も作りました。各会員が自由に活動するため時間は掛かりますが、やりがいを持って活動しています。

Q 今後の抱負を教えてください。

自然体験や外遊びは子どもの豊かな



空中回廊を製作する会員の皆さん

な成長につながるという研究結果がある一方、生活スタイルや環境の変化により、外で遊ぶ子どもが少なくなってきました。しかし、これまでの活動を通して、子どもたちは外で遊びたくないのではなく、遊ぶ機会が少ないのだと気付きました。二年前から子どもたちの遊び場作りを始め、全長五十メートルの空中回廊を完成させました。さらに多くの子どもたちが楽しめる空間となるよう、施設の充実を進めたいと思います。

湯の岳山荘は、季節の変化を感じることが出来る自然豊かで魅力的な場所なので、今後も自然体験などを通してその魅力を発信していきます。年末年始を除いて毎日営業していますので、ぜひいわきの里山に来て、見て、体験してほしいです。